



久山中学校だより

令和6年9月2日発行 第6号



2学期の抱負の表明 ～始業式の実施～

8月28日(水)に久中生が元気な姿で登校し、2学期が始業しました。夏季休業期間中、家庭、地域の皆様には、三者面談での学校との情報共有、家庭での子供たちの見取り、除草作業にお力添えいただきました。また、本年度から実施の心と身体ストレスチェックにも多くのご家庭にご協力いただきました。心からお礼申し上げます。2学期も本校教育活動にご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。始業式で代表生徒が表明した目標を紹介いたします。



P T A地域委員会による除草作業の様子

1 学年代表 1 年 2 組 久 芳 優太 さん

今学期頑張りたいことの1つは授業に真剣に取り組むことです。学習道具を忘れないこと、ノートを工夫して書くこと、積極的に発表すること等、声を掛け合い励む集団にしていきたいです。2つは合唱コンクールで学級曲にある言葉「みんな」の素晴らしさを伝えることです。クラスで団結し目標に向かいたいです。3つは部活動の質を高めて実力に変えることです。



2 学年代表 2 年 1 組 平 島 奏太 さん

1学期の課題は自学ノートの内容と休み時間の過ごし方です。改善するために、帰宅後すぐに自学に取り組み、その日学習したことをテーマに行いたい。休み時間暴れる人がいる現状については、自分たちが中学生という自覚をもって、善悪の判断をもって行動する必要があります。職場体験や修学旅行では公共の場所で活動するという自覚をもち日常の行動を良くしたいです。



3 学年代表 3 年 3 組 柴 田 蓮大 さん

2学期に頑張りたいことは2つあります。1つは勉強です。進路実現に向け授業中の集中力を高め、家庭学習時間を増やします。2つはボランティア活動に自ら参加することです。自分から行動できる力を付けたいです。3つは友達をつくることです。残された時間は短いです。人に優しくすることを意識し、思い出をつくりたいです。



生徒会代表 体育委員長 池 田 聡士郎 さん

2学期の過ごし方について、まず1学期に学んだことを継続すること。日々の生活で目標を立て常に努力しましょう。次に一人一人が日頃の挨拶で声を出すこと。体育会では皆大きな声を出していました。しかし日毎に段々声が小さくなっていると思います。2学期は文化発表会、合唱コンクールがあり、声が重要になります。意識を高め、学校の雰囲気を良くしていきましょう。



夏季休業中の久中生の学び

7月27日(土)にちびっ子フェスタで放送部が進行を務めました。また、8月21日(水)の女性の会「和」主催の小学生との交流会に久中生6名がボランティアとして参加しました。地域の方や小学生等と交流することで、人とよりよく関わる力が向上します。7月23日(火)人権を考える町民のつどいにも久中生が参加し、地域の方と映画「破戒」を鑑賞しました。地域で差別を許さない思いを共有することで、偏見に惑わされない確固たる自己をもつことができます。サマースクールにも14名の久中生が参加し、楽しみながら英語力を高めました。久中生の皆さん、町や地域の学びに積極的に参加し、自らを成長させる機会にしましょう。



小学生との交流会の様子

主体性を育む教科指導力の向上 ～主題研究に係る全体研修等の実施～

6月19日(水)に、本校主題研究「伸びようと主体的に学ぶ生徒の育成」に係る全体授業研修を実施しました。授業者は松本奨勢教諭で、学習課題を工夫した理科授業を全教員で参観しました。課題設定の工夫により、授業後も意見交流し、疑問を追究し続ける主体的な生徒の姿がありました。その後の協議会では、教員は学習課題について活発に意見を述べ、「1番疑問が大きくなった所に焦点化した方が良かった」等のポイントをつかんでいました。子供も教師も共に主体的に探究する学びの深い研修となりました。

7月18日(木)には、9月の久山町道徳教育実践交流会に向けて、道徳教育推進教師の吉村秀美教諭が研究構想を提案し、全教員で共通理解を図りました。現行学習指導要領で、これまで「道徳」だったものが、「特別の教科 道徳」となりました。この背景には、一方的に教師が教え込む授業から、子供が「葛藤」や「討議」を通して、子供が様々な問題に主体的に対処する力を育成するねらいがあります。本校から実効性のある授業を発信できるよう努めます。

夏季休業期間には、これらの授業や研究構想を手がかりに指導案を作成し、校内研修では、それらを持ち寄って審議しました。どの学年も、仲間と対話しながら主体的に学習する生徒の姿を思い浮かべながら、白熱した議論が繰り広げられていました。



全体授業研修での生徒の活動の様子



全体授業研修後の協議会の様子

久中生の豊かな感性の表現 ～吹奏楽部卒部コンサートの実施～

7月20日（土）に、本校吹奏楽部の卒部コンサートがレスポアール久山ホールにて開催されました。このコンサートは、レスポアール久山のご協力で毎年実施され、吹奏楽部員の3年生が最後に演奏を保護者や地域の皆様に披露する場となっております。この日も多くの方にご来場いただきました。

約1時間のコンサートでしたが、吹奏楽部員は高めた技能の全てを全10曲の演奏に出し切りました。吹奏楽部員の豊かな感性が輝く素敵な時間となりました。また、吹奏楽部員3年生の仲間が演奏する姿を見届けようと、多くの久中生も来場していました。久中生の仲間を大切にしたいという思いや優しさも伝わるコンサートでした。最後に卒部する3年生部員から、顧問や保護者、仲間への感謝と部活動を最後までやり抜いた達成感が述べられ、会場は感動の拍手と心温まる雰囲気に包まれました。

- ・約2年間皆で頑張ってきて思い出に残る演奏ができて嬉しかったです。
- ・途中で辞めようと思ったけど、続けた結果楽しく演奏できて良かったです。
- ・曖昧な理由で入部した私でしたが、今日楽しく演奏できて良かったです。
- ・今日演奏できたのは家族や来場者の方のお陰。応援ありがとうございました。
- ・部活動を支えてくれた家族や仲間、先生達には感謝しかありません。
- ・家族、保護者、たくさんの方に来ていただいたお陰でとても良かったです。
- ・最後に温かい仲間と色々な曲を楽しく演奏できて良かったです。



コンサートの様子



卒部する3年生部員の皆さん

教職員の検証改善力の向上 ～生活・学習アンケート結果の報告～

7月5日（金）に生徒対象に実施した生活・学習アンケートの結果を取りまとめたので右の通りご報告いたします。ご覧のとおり、重点目標「自己実現を目指し、主体的・協働的に活動する生徒」の1学期における達成状況も見とることができるようにしております。結果からは、「概ね満足できる」水準にあると言えます。教育活動の充実期である2学期には「満足できる」水準まで高められるように、夏季休業期間中にこれらのデータを基に各教科、各学年分掌で部会等を開き、改善策を協議しました。

また、夏季休業期間中に全国学力・学習状況調査の結果も国から届きましたので、アンケート結果と学力の関連性を分析しました。学力と相関があるアンケートの項目には下線を付しております。「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる」等主体的な授業態度が学力に影響を与えることが分かりました。

アンケート項目	1学年	2学年	3学年	全校
1 将来の夢や目標をもっている。	2.99	3.04	3.18	3.07
2 人の役に立つ人間になりたい。	3.67	3.58	3.71	3.65
3 地域や社会をよくするために何かしてみたい。	3.38	3.17	3.32	3.29
4 自分にはよいところがある。	3.03	3.01	2.95	3.00
5 人が困っているときは、進んで助けている。	3.38	3.34	3.29	3.34
6 学校は楽しい。	3.40	3.42	3.38	3.40
7 いじめはどんな理由があってもいけない。	3.90	3.87	3.92	3.90
8 普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある。	3.58	3.53	3.49	3.54
9 家で計画を立てて勉強している。	2.66	2.52	2.66	2.62
10 学習した内容について、分かった点や分からなかった点を見直し、次につなげている。	3.03	2.82	3.10	2.99
11 授業では課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる。	3.18	2.94	3.21	3.11
12 学級の生徒との話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりしている。	3.36	3.34	3.39	3.36

重点目標「自己実現を目指し、主体的・協働的に活動する生徒の育成」達成状況

アンケート項目	1学年	2学年	3学年	全校
自己実現を目指す【アンケート項目1、2、9】	3.11	3.05	3.18	3.11
主体的に活動する【アンケート項目4、10、11】	3.19	2.93	3.09	3.07
協働的に活動する【アンケート項目3、5、12】	3.39	3.29	3.33	3.34

※数値は、いずれも4段階尺度評価平均値

※基準は、3、2以上が「満足できる」、2、8以上3、2未満が「概ね満足できる」

教職員の自己研鑽力の向上 ～選択制相互研修の実施～

令和4年に国が新たな教員の学びの姿を「主体性を発揮しながら、教師自らが『個別最適化された学び』と『協働的な学び』を一体的に充実させ、生涯を通じて学び続ける」としました。この自己研鑽し続ける姿を実現することは、久中生の主体的、協働的な学びを実現することに直結します。そこで本校では、従来一斉に行った研修を、教員が自分の課題に応じて選択し、相互に教え合う形にしました。具体的には、夏季休業から冬季休業までに、校内外の講師による講座等を選択して5回受講し、専門性を高める仕組みです。その内2回を夏季休業期間に実施しました。どの講座でも積極的に質問が出ており、主体的な自己研鑽の姿を垣間見ることができました。



校内講座「合理的配慮講座」の様子



講師招聘研修「特別支援教育研修」の様子

久中生の努力を称えて

中学校総合体育大会<筑前地区大会>

サッカー：1回戦惜敗、水泳：男子個人メドレー200m:3位、400m:2位、

男子ソフトテニス：1回戦惜敗、柔道：女子個人3位

バドミントン：団体女子1回戦惜敗

<福岡県大会>

水泳：男子個人メドレー200m、400m 予選惜敗、柔道：女子個人1回戦惜敗

日中青少年書画交流大会（R5年度出品作品）

入賞 平島妃織さん、亀井夢叶さん、山口美優さん、坂口恵蓮さん

杜陽さん、黒岩優心さん、今村結愛さん